

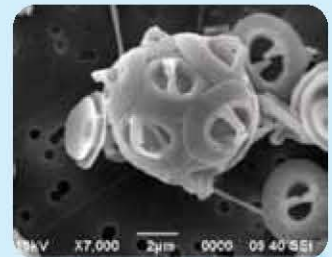


環境



しろしお えんせきそう 博多湾の白潮(円石藻の大量発生) について調査を行いました

平成 16・19・20 年の春に博多湾で白潮(しろしお)という現象が発生しました。これは円石藻(えんせきそう)というプランクトンの異常発生によって、海が白く変色したものです。円石藻の発生機構を解明するため、過去の水質・気象データの解析を行うとともに、海水中の円石藻遺伝子量を調べました。水質・気象データを解析したところ、大量発生した年は2～3月の塩化物イオンが高く、pH、DO、クロロフィルが低く、全天日射量が多い傾向にありました。また、水質・気象データについて統計的手法の一つである判別分析を行った結果、3月の時点でその年に円石藻が大量発生するかどうか、ある程度予測できるようになりました。円石藻遺伝子は年間を通して検出され、4～5月にやや多い傾向がありました。



円石藻の電子顕微鏡写真



円石藻大量発生時の博多湾

保健



にほんこうはんねつ マダニから日本紅斑熱リケッチアを 検出しました

「日本紅斑熱(にほんこうはんねつ)」という病気をご存知ですか?この病気は「日本紅斑熱リケッチア」(*Rickettsia japonica*)という細菌の仲間による感染症です。山や畑などで、このリケッチアを保有したマダニに刺されると感染します。感染して2～8日後に頭痛、発熱、倦怠感、発疹が認められます。早い段階で診断し、適切な抗生物質を投与することで治癒しますが、まれに死亡事例も報告されています。近年全国的に患者数が増加しており、福岡市では、平成 23 年 6 月に初めて日本紅斑熱の患者が 1 人確認され、さらに平成 24 年度にも 1 件発生しました。原因となるマダニは野外に生息しており、家の中にいるダニとは別の種類です。今回、採取した一部のマダニから日本紅斑熱リケッチアが検出され、福岡市内でも感染リスクがあることが確認されました。このような調査を実施し、市民の皆様や関係機関へ情報を提供することで、感染症の予防や拡大防止に努めています。



マダニの顕微鏡写真

食品



食事から摂取する食品添加物や農薬の量を調べています

私たちは一日の食事を通してどのくらいの食品添加物や農薬を摂取しているのでしょうか？この調査では福岡市民の食生活に合わせ、市内のスーパーマーケットなどで加工食品や生鮮食品を購入します。食品は必要に応じて調理を行い、種類ごとに混ぜ合わせたものを検査します。これまで保存料・甘味料・合成着色料などの食品添加物や190種類の農薬を調べました。その結果、一日の食事から摂取する食品添加物や農薬の量は、毎日、一生涯食べ続けても安全性に問題がないとされている量に比べて、非常に少ないことが明らかになりました。この調査の詳細内容はホームページに掲載しています。これからも、市民の食の安全・安心を推進していくための調査や研究に取り組んでまいります。



食品添加物の検査をしている様子



※福岡市保健環境研究所のホームページ（<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/hokanken/>）から「食品添加物の1日摂取量調査」「残留農薬の1日摂取量調査」をご覧ください

廃棄物



清掃工場から出る排ガスを定期的に監視しています

福岡市内で出された燃えるごみは、収集地区に応じて南部・西部・臨海・東部の4つの清掃工場に運搬され、焼却処分されています。ごみを燃やす際に発生する排ガスは硫黄酸化物や窒素酸化物といった大気汚染の原因物質を含んでいます。これらの有害物質を含む排ガスをそのまま大気中に放出すると重大な環境汚染を引き起こしてしまう恐れがあるため、清掃工場内では常に適切な処理を施した後に排出しています。わたしたちは清掃工場から出る排ガスを定期的に調査することで排ガスの処理状況を把握し、適切に維持管理されているかどうかを監視しています。



工場内煙突付近での排ガス調査の様子



東区箱崎ふ頭にある臨海工場

市民交流コーナー

保健環境研究所では、職員が皆様のところへ訪問してお話しする出前講座を実施しています！内容は下記の①～③があります。受講希望の方は、どれを受講するか決めた後に、保健環境研究所までご連絡ください♪

(受付電話番号：①②は 831-0660、③は 642-4570)



① 楽しい環境実験室(環境科学課担当)

簡単で楽しい実験(下記内容から1つを選択)を通じて、環境の大切さを学びます。

酸性雨を作ってみよう

パックテストを使って水質を調べてみよう

川の中の虫を見てみよう

② 食品添加物の話(保健科学課担当)

食品添加物について講義を通して学びます。

③ リサイクル実験講座(環境科学課担当)

ごみ減量やリサイクルの大切さについて講義と実験(下記内容から1つを選択)を通して学びます。
中学生以上対象。

廃油からキャンドルをつくろう

牛乳パックからはがきをつくろう

ペットボトルから繊維をつくろう

※実験準備の都合上、実施日は平日のみで、月に2回程度までとさせていただきます



廃油のリサイクル
キャンドル作りの様子

注意事項

- ①参加できるのは、おおむね10名以上で構成された団体に限ります。
- ②講師料、交通費等、講座にかかる費用は一切無料です。ただし、会場は用意していただきますので、経費が必要な場合は団体の負担になります。
- ③次の場合は申込みできません。(政治、宗教、または営利を目的とした催し・出前講座の目的に反していると認められる催し)
※出前講座は市民のみなさまに市政について理解を深めていただくものです。苦情や要望のみをお聞きするものではありませんので、趣旨をご理解のうえお申し込みください。



キャンドル
完成品

編集・発行

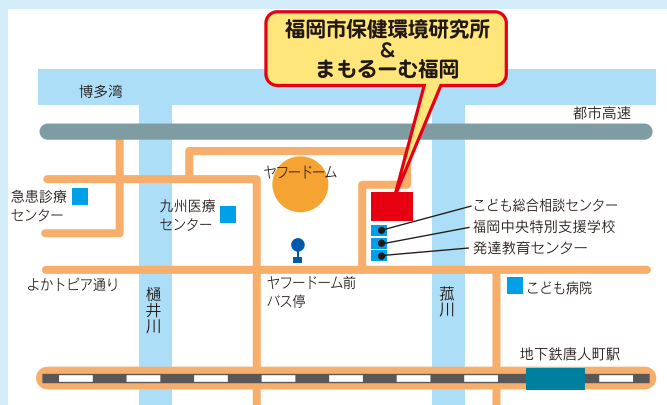
福岡市保健環境研究所

〒810-0065 福岡市中央区地行浜二丁目1-34

TEL : 092-831-0660 FAX : 092-831-0726

E-mail: hokanken.EB@city.fukuoka.lg.jp

URL : <http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/hokanken/>



福岡市保健環境研究所に併設されている
市民のための啓発施設

「まもる一む福岡(保健環境学習室)」は
2013年1月にリニューアルオープンします！

廃棄物資源化担当及び廃棄物処理施設担当の
事務所はこちらになります。

〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭四丁目 13-42
(臨海工場管理棟 3 階)

TEL 092-642-4570 FAX 092-642-4595

